



■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	KSW計画	階数	地上2F
建設地	千葉県柏市高田字中ノ台1064番1,3	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	1,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	6,570 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年11月 予定	評価の実施日	2022年11月14日
敷地面積	18,219 m ²	作成者	(株)汎設計東京支社
建築面積	3,365 m ²	確認日	
延床面積	4,140 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
<p>Q1のスコア = 2.9</p>	<p>Q2のスコア = 3.0</p>	<p>Q3のスコア = 2.5</p>

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<p>LR1のスコア = 2.9</p>	<p>LR2のスコア = 3.2</p>	<p>LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内環境、サービス性能への配慮を行う。 ・敷地内外環境への配慮を行う。 ・エネルギー、資源マテリアルの確保に努めている。 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に無し。 	
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用建材はF☆☆☆☆とする。 ・喫煙室を負圧としている。 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防汚性の高い建材の採用。 ・耐用年数の長い、部品部材を採用。 ・壁長さ比率：0.08。 	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑地、中高木の設置。
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BPI_m=0.81 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動水栓に加え、節水型便器の採用。 ・LGS下地、フリーアクセスフロアを採用。 ・有害物質を含まない防水工事のプライマーを採用。 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LCCO₂排出率=97%。 ・燃焼設備設置無し。 ・光害対策チェックリスト、配慮事項の過半を満たす。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

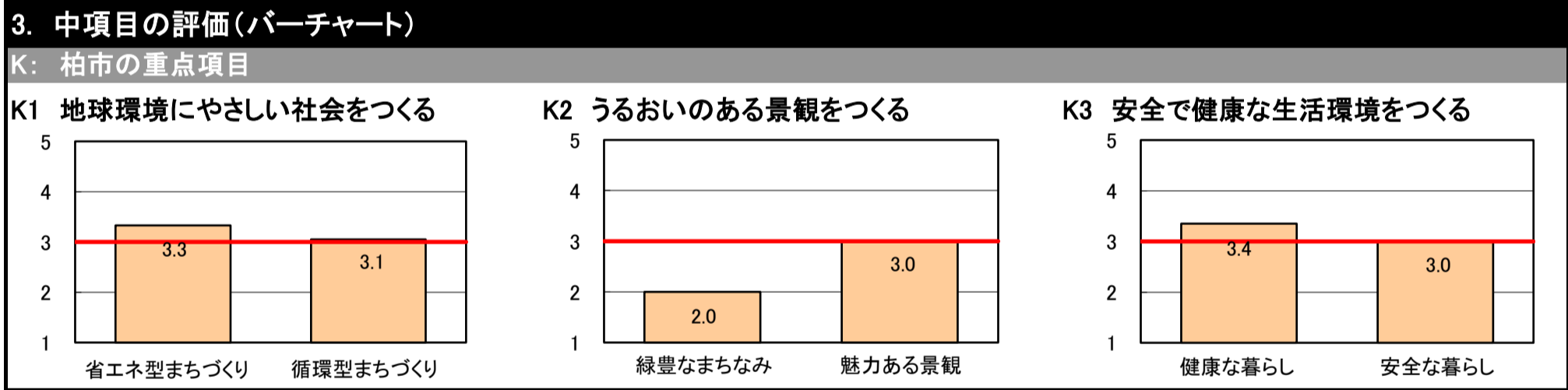


評価結果

■使用評価マニュアルCASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1 建物概要			
建物名称	KSW計画	建築物の環境効率 (BEEランク)	B+ ★★★★★

2 重点項目への取組み度			
重点項目	取組み度 ※ (得点/満点)	評価結果	
K1 地球環境にやさしい社会をつくる	3.1 / 5.0	ふつう	
K2 うるおいのある景観をつくる	2.5 / 5.0	がんばろう	
K3 安全で健康な生活環境をつくる	3.1 / 5.0	ふつう	
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)	すばらしい 4点以上	ふつう 3点以上	がんばろう 3点未満



4. 設計上の配慮事項	
<p>K1 地球環境にやさしい社会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 断熱性能を高めて省エネ型まちづくりに配慮する 廃棄物保管スペースの確保や分別回収容器の設置により循環型まちづくりに配慮する 	<p>スコアシート</p> <p>1. 省エネ型まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1) スコア 4.9 1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2) スコア 3.0 1.3 設備システムの高効率化(LR1-3) スコア 2.2 1.4 効率的な運用(LR1-4) スコア 3.0 <p>2. 循環型まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1) スコア 3.0 2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1) スコア 3.0 2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2) スコア 3.2 2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4) スコア 3.0
<p>K2 うるおいのある景観をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑地を可能な限り豊富に設け敷地内のみどり豊かなまちなみに配慮する 緑地による良好な景観を形成することで魅力ある景観に配慮する 	<p>スコアシート</p> <p>1. 緑豊かなまちなみ</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1) スコア 2.0 <p>2. 魅力ある景観</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2) スコア 3.0 2.2 水空間の創出 設置の有無 - 2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 -
<p>K3 安全で健康な生活環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> バリアフリー新法の円滑化基準を満足することにより、健康な暮らしに配慮する 	<p>スコアシート</p> <p>1. 健康な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 空気質環境(Q1-4) スコア 3.7 1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3) スコア 3.0 <p>2. 安全な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 耐震・免震(Q2-2.1) スコア 3.0 2.2 防犯対策 防犯性の配慮 -